

# 日之影町立日之影中学校の学力向上への取組

## 1 平成17年度の本校の学力調査結果及び意識調査結果から見た課題

### (1) 学力調査結果からの課題

- 国語 … 「読むこと」では、文脈に即して読み取る力や心情を読み取る力が、「言語事項」では、文の成分を理解する力が十分に身に付いていない。
- 数学 … 数学的な見方や考え方、数学的な表現・処理についての達成率は高い数値を示しているが、数量、図形などについての知識・理解は低い。図形分野の定着を図る必要がある。
- 英語 … 文法事項が定着していない。語彙力が不足している。
- 理科 … 基礎的なことに関しては県平均と同じである。しかし、応用問題については下回っている。特に、身近な物理現象、植物の生活と種類に関しては基礎的なこと、応用的なこと、どちらにおいても手だてを講じていきたい。また、科学的思考を重視した授業もさらに進めていきたい。
- 社会 … 平均到達度、達成率でも県平均を大きく上回っているが、「中世の日本」だけが下回っている。応用、基礎にかかわらず低い数値を示しているため、基礎的事項をもう一度押さえ直す必要がある。

### (2) 意識調査結果からの課題

- 「生きる力」の、自分で調べたことをまとめ発表する問題解決力が身に付いてない。
- 「学びの基礎力」の学習計画力や学習のけじめが身に付いてない。

## 2 学力向上に向けた課題解決への具体的な取組

### (1) 学力向上に向けた経営方針

地域に誇れる、信頼される学校として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成をめざし、生徒が感動する、保護者が感動する、地域が感動する、教育活動を推進する。そのためには、自信をもち主体的に生きる力を育てる学習指導の展開に努め、生徒が意欲的に学習に取り組みながら基礎学力を高め、一人一人の能力・適性に応じて可能性を最高に開発する教育を実践する。また、学校と家庭・地域との連携を図り、地域の教育への願いの実現に努める。

### (2) 教育課程内の取組

#### ア 自習0への取組

本校は、一昨年までは学級数も各学年1学級であったが、統合により学級数が増え、固定時間割で時間割を組んでいる。  
また、出張や年休などで自習が増えることが予想された。そこで、自習をなくすために、固定時間割を基本としながらも出張などを考慮しながら、時間割を毎週出すようにした。その際、【図1 週あたりの時数表】で時数の確認をし、時数の偏りを確認しながら時間割の操作を行っている。このため、自習はほとんどなくなり、授業時数の確保につながっている。

教科	月	1																		2			
		4			5			6			7			9			10			17	18	19	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16						
国語	1	標テ	12	20	28	9	16	1	8	19	te	11	25	1	15								
	2	14	24	1	11	18	23	12	9	20	29	12	te	7									
	3	17	25	2	12	19	29	5	13	22	4	13	29	8									
	4	19	27	8	15	テ	30	6	16	25	10	14	31	11									
社会	5	標テ	12	24	1	12	19	2	9	19	te	7	14	31	5	16							
	6	17	26	8	15	テ	29	5	12	21	30	10	19	1	7								
	7	18	28	10	17	24	31	7	14	23	5	12	te	1	8								
数学	8	標テ	13	20	1	11	16	テ	31	7	14	te	7	13	te	5	16						
	9	数テ	14	26	8	9	17	24	1	8	21	3	10	19	29	6							
	10	19	27	10	15	18	22	29	5	12	25	5	11	28	30	13							
	11	標テ	14	25	8	12	19	31	7	14	23	30	5	12	30	6	15						
理科	12	18	28	9	16	テ	24	2	9	16	28	4	7	19	1	8							
	13	19	テ	10	17	23	30	6	13	20	te	4	11	te	4	11							

【図1 週あたりの時数表】

#### イ 「日之影タイム」の活用

教科等の週時数は 28 時間で実施できるが、学校行事等での授業ができなかった場合を考慮し、ゆとりある行事計画を編成したり、学力向上対策として授業時数を確保したりするねらいから、週時数を 29 時間とし、29 コマ目の時間を日之影タイム「HT」の時間と設定している。

- HTの時間は、学校行事・学校の行事・生徒会行事等にあててを原則とする。そのため、行事の時間と入れ替えた場合は、授業を振り替えて行う。
- 予備時数として出てきたHTの時間の使い方については、授業の挿入を考える。その場合、授業実施時数集計表をもとに、授業時数の足りない教科等を優先して計画する。
- 予備時数として出てきたHTの時間の使い方については、授業を実施しない時数として考える。その場合、各種委員会等の職員会や職員研修を、時期に応じて計画するようにする。

#### ウ 授業実践における指導方法の工夫改善

全教科で教科経営案を作成し、指導方法の工夫改善、学力向上に取り組んでいる。特に数学科、英語科では、習熟度別少人数指導を実施して効果を上げている。数学科は各学年を3つのコース（青雲、竜天、天翔）に分け、英語科は各学級を2つのコース（基礎、標準）に分け、習熟度別の授業を実施することで、生徒の興味・関心を高め、個に応じた指導を実践している。

#### エ 日之影町テストの実施

日之影町は、確かな学力を身に付けた生徒の育成を目指し、町内小中学校（小学校は3年生以上）の全生徒を対象に、年に2回、同一問題によるテストを実施している。問題作成者は各学校の教師が担当し、基礎的・基本的内容の定着度を図り、授業方法の改善などにつながる良い機会となっている。

### (3) 教育課程外の取組

#### ア 小学校との連携

昨年度から、「明日の宮崎を担う子どもたちを育む戦略プロジェクト」の、小中連携推進事業の推進拠点校として研究を進めている。併せて「クリエイト西臼杵」の取組みとして、夏季休業中に、日之影中学校校区小中合同研修会を実施した。ここで①一貫性・系統性のある到達目標の設定、②連携する小・中学校での共通の課題について、③9年間を見通した一貫性・系統性のある具体的な指導（取組）について協議した。決まった共通実践事項については、A4判のプリントにまとめて各家庭に配布し共通して指導にあたることとした。

#### イ モニター会（生徒指導を中心とした地域の方との会）

日之影中学校校区の公民館長、警察、小学校PTA会長、民生児童委員、中学校PTA役員、中学校職員が、年に2回、児童・生徒の地区での様子、登下校の様子、非行防止の対策や安全対策などの情報交換を行い、生徒の健全育成に努めている。

#### ウ 漢字検定・英語検定（全校生徒が上級取得を目指す）

漢字検定および英語検定とも第3学年終了までに3級取得を目指して取り組んでいる。今後は、さらに合格率を上げる手だてを講じていきたい。

#### エ 「朝の読書」の指導

本校では、集会がある日を除いて朝の15分間読書に取り組んでいる。職朝がない日は全職員が各学年に分かれ、教室で一緒に読書をしている。読書は学力の基盤となる読解力をつけるほか、1日のはじめに行うことで心を落ち着かせ、「学習の構え」をもつ上でも有効な活動となっている。また、『朝の読書』をさらに充実させるために、「読書カード」に読んだ本の題名とページ数を毎日記入させ、月ごとに集めて個別指導に生かすようにしている。

### (4) 保護者・家庭・地域との連携

#### ア 学校教育支援の会

本校では、「自ら学び、豊かな心で、たくましく活動できる生徒の育成を図るために、学校・家庭で連携し研究実践していく」という目的で、「学校教育支援の会」（校長、教頭、教務主任、研究主任、研究班班長、PTA役員）を設置している。ここでは、学校の学力向上の取組や生徒の実態、家庭学習における保護者の役割などについて意見交換を行っている。

また、「学校教育支援の会」の内容や出された意見等については、参観日の各学年委員長の話や、「学校教育支援の会だより」を通し、各家庭に伝わるように努めている。今後は、計画的・継続的に「学校教育支援の会」を開催することで、生徒の学習効果を上げるための協力体制を強化していく予定である。

#### イ 日之影町教育の日の実施

11月26日（日）は日之影町教育の日にあたり、学校を全面開放した。この日は中学校の保護者のみではなく、地域の方にも案内をして自由に学校を参観していただき、きたんのないご意見を伺う機会としている。保護者からも自由に参観でき、学校の様子がよく分かったということで大変好評であった。教育相談については、不安が解消されてよかったという感想や、家で何を勉強すべきかが分かったなどという感想が多く聞かれた。

## 3 成果と課題（今後の取組を含む）

### (1) 成果

- 自習を出さない取組や「日之影タイム」の活用で授業を確保したことで、ゆとりある教育課程の実施につながった。
- 日之影町テストの実施や小中連携により、教師の指導方法の工夫改善や問題作成能力を高めることができ、基礎・基本の定着が図られ、確かな学力を身に付けさせることができた。
- 朝の読書で本を読む時間を確保したことで、本に親しむ生徒が増えてきた。

### (2) 課題

- 自ら考え、学び、表現しようとする等のコミュニケーション能力を育成していく場を設定し、指導方法を工夫改善していく。
- 地域・家庭との連携を深め、教育力を高めていく。